

ツヤマグソコガネ

学名	Aphodius (Aphodiellus) impunctatus Waterhouse	
目名	コウチュウ目	
目名学名	COLEOPTERA	
科名	コガネムシ科	
科名学名	Scarabaeidae	
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし



【選定理由】

ダイコクコガネが牛糞を土中に掘ったトンネルに育児球として運ぶその糞の一部を本種の幼虫が食べて育つという、寄生性の生態をもつ。寄主であるダイコクコガネが絶滅の危険性が増しているため、本種も生息環境を失いつつある。

県内分布	玖珠町, 久住町, 九重町, 朝地町, 庄内町
分布域	本州(山口)・九州(佐賀・長崎・熊本・大分)
世界的分布	日本固有種
生息環境	放牧地となっている高原草地。
現状	県中西部に広がる高原草地で生息が確認されているが、近年はダイコクコガネの衰退とともに個体数を減じている。
備考	九州特産の希少種である。